

第2回学校動物飼育支援対策検討委員会議事概要 (小動物臨床部会個別委員会)

社団法人 日本獣医師会

I 日 時 平成22年3月31日(水) 13:00 ~ 15:00

II 場 所 日本獣医師会・会議室

III 出席者

【委員】 桑原保光 群馬県獣医師会 (桑原動物病院院長)

近藤信雄 岐阜県獣医師会会長

須藤正之 滋賀県獣医師会 (須藤獣医科病院院長)

處 愛美 福岡県獣医師会 (ところ動物病院院長)

中川美穂子 東京都獣医師会理事

宮川 保 新潟県獣医師会理事

【文部科学省】 菊池史晃 文部科学省初等中等教育局教育課程課企画調査係係長

【本会】 中川秀樹 (副会長)、細井戸大成 (小動物臨床部会長)

IV 議 事

- 1 前回会議の検討結果 (説明)
- 2 検討報告書の作成について (協議)
- 3 その他

V 会議概要

会議の冒頭、中川副会長より挨拶があった。その概要は以下のとおりである。

- (1) 年度末のご多忙中にお集まりいただき、感謝申しあげる。学校動物飼育に係る事業は直接的には地方会が担うことになるが、その効果、必要性、目標を明確にしていく必要がある。
- (2) 学校動物飼育支援については、動物福祉の問題を懸念した獣医師が地域や学校に提言しているところからスタートしているが、本来は文科省からもあるべき姿を指導する姿勢があるべきである。委員各位には英知の結集を期待している。

1 前回会議の検討結果 (説明)

事務局から資料に基づき、前回会議の検討結果について説明が行なわれた。

2 検討報告書の作成について (協議)

- (1) 中川副委員長より、報告書 (案) 作成の過程について説明が行なわれた。

ア 前回の会議において、協議課題が各委員に割り振られ、副委員長が取りまとめ

て事務局に提出することとなっており、各担当委員からの報告が中川副委員長により取りまとめられた。

イ なお、副委員長の取りまとめにおいては、本委員会の趣旨である地方会における実践的な指針により適合させる必要があるため、協議課題のカテゴリーを修正した上で報告書案を作成し、各委員、委員長、副委員長にお目通しいただき、了承を得た旨報告され、報告書（案）が示された。

(2) 提示された報告書（案）の内容について協議が行なわれた結果、別紙のとおり修正することとされた。

(3) 須藤委員、處委員、宮川委員から別冊資料に基づき、協議課題の報告が行なわれた。各委員から寄せられた当初の報告については、報告書の資料の中に反映させる形で、最終的には中川副委員長が資料を取りまとめて添付し、各委員の了承を得ることとされた。

3 その他

(1) 全地方会の中に学校飼育動物の委員会が作られるべきだという意見があり、全員一致で賛成された。具体的な推進の方法として、日本獣医師会から地方会あてに文書にて指導することを検討することとされた。

(2) 平成22年度の岐阜における学会年次大会において、学校における動物飼育に関する公開講座等の特別企画を実施したいという意見があり、全員一致で賛成された。内容については今後の委員会において検討することとした。

VI まとめ

第2回委員会は、近藤委員長により以下のとおりとりまとめられた。

(1) 次回委員会は6月頃を予定し、報告書の最終案について検討する。

(2) 報告書はガイドラインとして今秋を目処に全国へ配布する。

(3) 各地域における学校動物飼育支援活動の状況に関するアンケート調査の内容については、別途委員の間で意見交換をして取りまとめることとする。

最後に、中川副会長より挨拶があった。その概要は以下のとおりである。

(1) 学校動物飼育について、獣医師が学校にアプローチするのではなく、学校から獣医師に要請が来るような方向に持っていけるとよい。そのためには文科省にはご指導ご協力いただきたい。

(2) 委員各位は専門家ばかりであり、身をもって体験し、やりやすい方法を体得されている。その貴重な経験を、ぜひ普及途上の地方会へ伝達してほしい。